IP Remote

ユーザーガイド

©2018,2019,2023,2026 Sony Corporation

目次

はじめに 5
提供のパッケージについて 5
1. 概要 6
2. 動作環境 6
3. 準備 7
4.1. No Device Selected画面 / Remote画面 10
4.2. Menu画面 (サイドメニュー) 12
4.3. Remote画面 - TV (BRAVIA) 14
4.4. Remote画面 - PJ (ADCP) 16
4.5. Remote画面 - PJ (PJ Talk) 20
4.6. Remote画面 - PTZカメラ 24
4.7. Remote画面 - CLED 25
4.8. Remote画面 - Group : TV (BRAVIA)のみ 27
4.9. Remote画面 - Group : PJ (ADCP)のみ 29
4.10. Remote画面 - Group : PJ (PJ Talk)のみ 31
4.11. Remote画面 - Group : PTZカメラのみ 33
4.12. Remote画面 - Group : CLEDのみ 34
4.13. Remote画面 - Group : TV (BRAVIA) & PJ (ADCP) 36
4.14. Remote画面 - Group: TV (BRAVIA) & PJ (PJ Talk) 37
4.15. Remote画面 - Group : PJ (ADCP) & PJ (PJ Talk) 38
4.16. Remote画面 Group :TV(BRAVIA)& PJ(ADCP) & PJ (PJ Talk) 40
4.17. Remote画面 - Group : PTZカメラ & その他デバイス 41
4.18. Remote画面 - Group : CLED & その他デバイス 41
5. 使い方 42
5.1. IP Remoteアプリを起動する 42
5.2. Menu画面(サイドメニュー)を表示する 43
5.3. 操作対象のデバイスを新規追加する 44
5.4. 登録したデバイスを削除する 45
5.5. Wake on LAN機能でTVの電源をONする [ブラビアのみ] 47
5.6. App Launcherボタンで起動させる HTMLアプリを指定する [ブラビアのみ] 48
5.7. PTZオートフレーミングの追尾人数変更する[PTZカメラのみ] 50
5.8. IP Remoteアプリ起動時のデバイスを指定する 51
5.9. デバイス一覧の並びを変更する 51
5.10. ブラビアを操作する 52
5.11. プロジェクターを操作する 52
5.12. PTZカメラを操作する 52
5.13. Crystal LEDディスプレイコントローラーを操作する 52
5.14. 複数のデバイスを一斉操作する 53
5.15. 不特定の相手から操作されないように、デバイスが認証を有効にしている場合 54
5.16. デバイスの設定や状態を確認する[PTZカメラ、CLEDのみ] 56
5.17. End user license agreementを表示する 57
5.18. License informationを表示する 57
5.19. フランス オンラインコミュニケー ションアクセシビリティ法に関するWebページを表示する 58
5.20. カスタマイズ機能を無効にする 59
5.21. 長押しが有効になるまでの時間を変更する 60
5.22. 連続タップを1回とみなす時間を変更する 61

6. トラブルシューティング 62
7. アクセシビリティ機能 63
8. 変更履歴 64
V1.4.0 64
V1.3.0 64
V1.2.0 64
V1.1.1 64

V1.1.1 54
V1.1.0 54

はじめに

提供のパッケージについて

以下提供するパッケージの構成になりますので、ご使用にあたりご確認ください。 IP Remote アプリを以下からインストールしてください。

IP Remote	Android app
IP Remote	iOS app

1. 概要

IP Remote アプリは、ネットワークを通じてモバイル端末からブラビアを操作できるアプリです。 電源の制御や入力切り替えなどの基本操作が可能なだけではなく、HTML5アプリの起動指示、複数台を一斉操作することも可能です。 また、Ver1.1.0では、プロジェクターの操作に対応し、Ver1.4.0では、PTZカメラおよびCrystal LEDディスプレイコントローラーの操作にも対応しました。

2. 動作環境

アプリを動作させるために、モバイル端末、および操作対象となるブラビア、プロジェクター、PTZカメラ、または Crystal LEDディスプレイコントローラーが必要になります。 ここでは、IP Remoteアプリを利用するために必要な動作環境について説明します。

<モバイル端末>

OS	Android 11.x以降、もしくは iOS 18.x 以降
Display	解像度 640×960ピクセル以上 (推奨)

<BRAVIA>

Android 10以上のOSを搭載したプロモードをサポートするBRAVIA

<プロジェクター>

ADCPおよびPJ Talkをサポートするプロジェクター

<PTZカメラ>

SRG-A40，SRG-A12，BRC-AM7

< Crystal LEDディスプレイコントローラー>

ZRCT-300

3. 準備

以下のハードウェアおよびソフトウェアを準備していただく必要があります。

<モバイル端末>

モバイル端末本体	"**2. 動作環境**"を参照	必須
IP Remote アプリapp	アプリストアからIP Remoteアプリ をインストールする。	必須

<BRAVIA>

BRAVIA	"**2. 動作環境**"を参照	必須
	認証方法を設定する。 IP Remoteアプリ でブラビア を操作する為に設定にする。 ● 認証を有効にする場合 ○ 通信設定 > ホームネットワーク > IPコントロール > 認証 「Pre-Shared Key」または「Normal and Pre-Shared Key」に設定する。 ○ 通信設定 > ホームネットワーク > IPコントロール > Pre-Shared Key任意の文字列を設定する。 ● 認証を無効にする場合 ○ 通信設定 > ホームネットワーク > IPコントロール > 認証 「None」に設定する。 **Simple IP Controlを有効にする。** IP Remoteアプリ で 電源をON する為に有効する。 ○ 通信設定 > ホームネットワーク > IPコントロール > 簡易IPコントロール 「入」に設定する。 **HTTPS通信をサポートしているモデルの場合** 1. リモートコントロール機能を「ON」に設定する ● ネットワークとインターネット > モバイル機器設定 > リモートコントロール機能 2. BRAVIA本体からルート証明書をUSBメモリにエクスポート ● 通信設定 > ホームネットワーク > IPコントロール>ルート証明書> ルート証明書の書き出し 3. ルート証明書をモバイル端末にインストール ※操作するBRAVIAごとにルート証明書のエクスポートとモバイル端末へのインストールが必要 ● Android端末 ○ セキュリティとプライバシー > その他のセキュリティ設定 > 暗号化と認証情報 「証明書のインストール」または「ストレージからインストール」 ファイルマネージャーからルート証明書を選択 CA証明書としてインストールを選択 ● iOS端末 ○ ルート証明書を選択し、ダウンロードする ○ 設定 > 一般 > VPNとデバイス管理（または プロファイル）でダウンロードされた証明書プロファイルを選び、「インストール」 ○ ルート証明書を信頼する。手順は下記公式ページを参照 ➢ Trust manually installed certificate profiles in iOS, iPadOS, and visionOS - Apple Support (PH) ※ インストールした証明書は、BRAVIAとの通信だけでなく、モバイル端末からの全てのHTTPS通信に影響します。BRAVIAからルート証明書や秘密鍵が漏洩した場合、任意のサーバーを信頼させることができるため通信の傍受や不正なWebサイトへのアクセスが可能になるリスクがあります。このようなリスク問題が発生した場合、またはルート証明書が不要になった場合には、速やかに該当のルート証明書をアンインストールしてください。	必須

<プロジェクター>

<table>
<tr><td rowspan="2">プロジェクター本体</td><td>"2. 動作環境"を参照</td><td>必須</td></tr>
<tr><td>プロジェクターの設定方法の詳細については、各プロジェクターの取扱説明書を参照のこと。

ADCPサービスを有効にする。
IP Remoteアプリ でADCPサービスに対応しているプロジェクターを操作する為に有効にする。
ADCP サービス に対応していないプロジェクターは操作できない。
ウェブブラウザで、http://xxx.xxx.xxx.xxx (xxx.xxx.xxx.xxx：プロジェクターの IP Address)を表示して設定する。
● ADCP の "start ADCP Service" を有効にする
Port No.は「53595」、Timeoutは「60」
○ 認証を有効にする場合
■ Enable "Requires Authentication" in ADCP
■ Set the administrator password in PSK of the IP Remote app
○ 認証を無効にする場合
■ ADCP の "Requires Authentication" を無効にする
■ IP Remote アプリ の PSKは指定しない

PJ Talk サービスを有効にする。
IP Remoteアプリ でPJ Talkサービスに対応しているプロジェクターを操作する為に有効にする。
PJ Talk サービス に対応していないプロジェクターは操作できない。
ウェブブラウザで、http://xxx.xxx.xxx.xxx (xxx.xxx.xxx.xxx：プロジェクターの IP Address)を表示して設定する。
● PJ Talk の "Start PJ Talk Service" を有効にする
Communityは「SONY」、Port No.は「53484」、Timeoutは「30」

スタンバイモードを標準にする。
IP Remoteアプリ で 電源をON する為に標準に設定する。
● プロジェクター本体のMENUからスタンバイモードを「標準」に設定する</td><td>必須</td></tr>
</table>

<PTZカメラ>

<table>
<tr><td rowspan="2">PTZカメラ本体</td><td>"2. 動作環境"を参照</td><td>必須</td></tr>
<tr><td>PTZカメラの設定方法の詳細については、各PTZカメラの取扱説明書を参照のこと

初期パスワード設定
Web ブラウザーのアドレスバーにカメラの IP アドレスを入力し、Enter を押下
ユーザー名とパスワードの入力が求められるため、管理者のユーザー名を入力し、パスワードは空欄にして初回ログインをする。

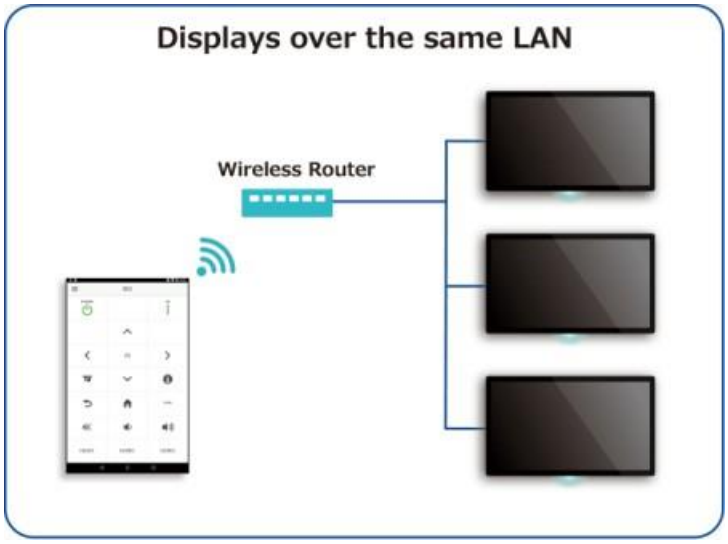
管理者ユーザー名：admin
パスワード：空欄

ログインすると、管理者のパスワード設定を求められるため設定する。
［OK］ボタンを押下すると、設定変更が完了し、再度管理者ユーザー名とパスワードの入力が求められるので、設定した管理者ユーザー名とパスワードを入力</td><td>必須</td></tr>
</table>

< Crystal LEDディスプレイコントローラー>

Crystal LED ディスプレイコントローラー本体	"**2. 動作環境**"を参照	必須
	Crystal LEDディスプレイコントローラーの設定方法の詳細については、各Crystal LEDディスプレイコントローラーの取扱説明書を参照のこと。 **ADCPサービスを有効にする。** IP Remoteアプリ でCrystal LEDディスプレイコントローラーを操作する為に有効にする。 ウェブブラウザで、http://xxx.xxx.xxx.xxx (xxx.xxx.xxx.xxx：Crystal LEDディスプレイコントローラーの IP Address)を表示して設定する。 ● ADCP の "start ADCP Service" を有効にする Port No.は「53595」、Timeoutは「60」 ○ 認証を有効にする場合 ■ Enable "Requires Authentication" in ADCP ■ Set the administrator password in the IP Remote app ○ 認証を無効にする場合 ■ ADCP の "Requires Authentication" を無効にする ■ IP Remote アプリ の パスワードは指定しない	必須

<その他>

ネットワーク環境	モバイル端末と対象のデバイス(ブラビア/プロジェクター/PTZカメラ/ Crystal LEDディスプレイコントローラー)をセキュリティ対策されたローカルエリアネットワークに接続する。  	必須

4. 各部の名称

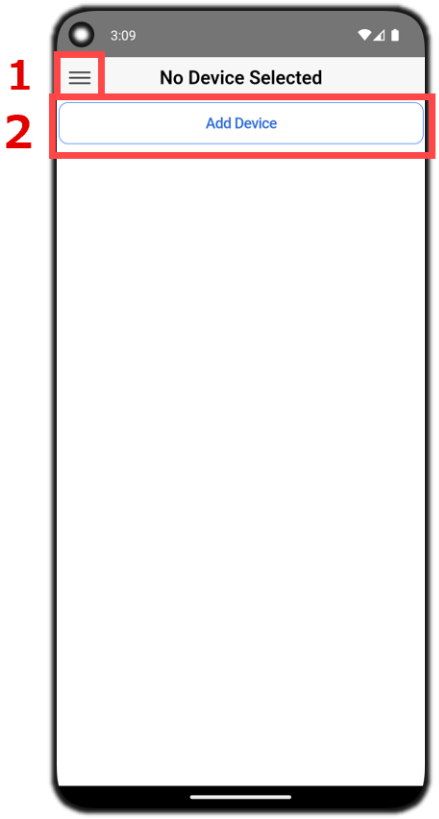
ここでは、IP Remoteアプリの主要画面の各部の名称と機能を説明します。

4.1. No Device Selected画面 / Remote画面

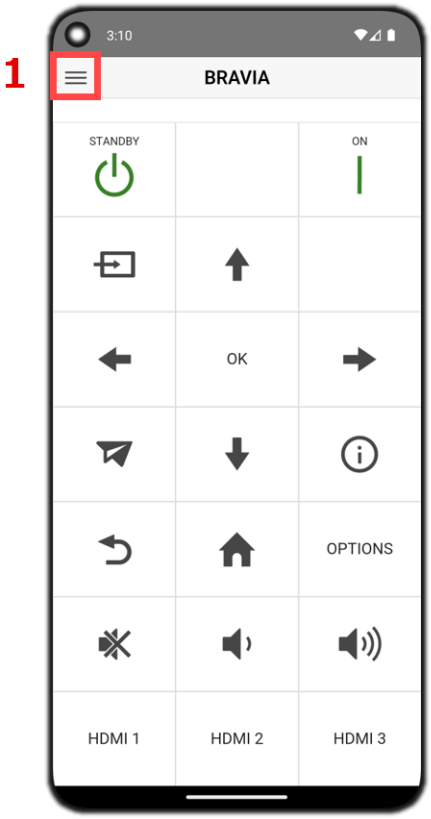
IP Remoteアプリ起動時の画面です。
No Device Selected 画面：デバイスが指定されていないときに表示される画面

Remote 画面：指定したデバイスのコマンドが表示される画面

No Device Selected Screen



Remote Screen

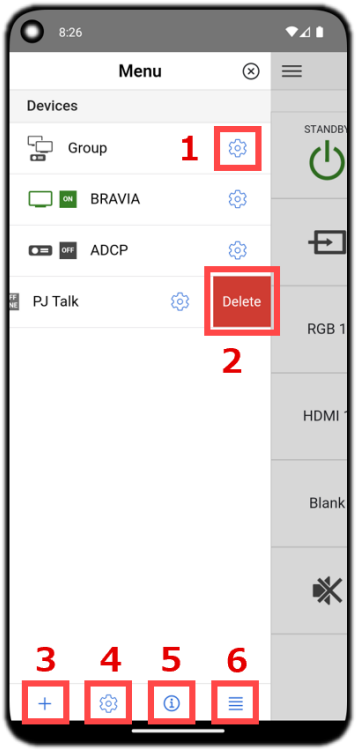


GUI	名称	機能	画面
1	Side Menu ボタン	Menu画面(サイドメニュー)を表示する。	No Device Selected 画面, Remote 画面
2	Add Device ボタン	操作対象のデバイスを新規追加する。	No Device Selected 画面

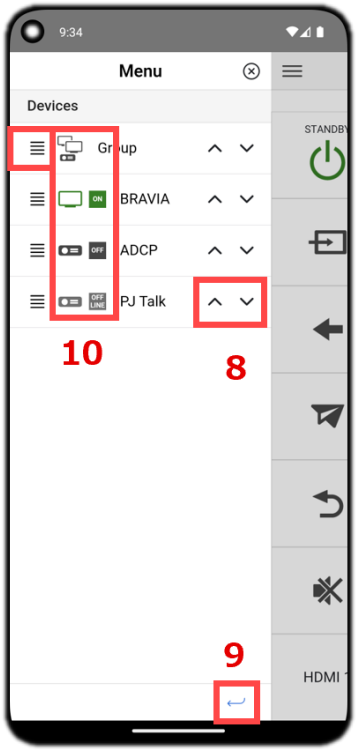
4.2. Menu画面（サイドメニュー）

デバイスの追加、削除、および並び替えをおこない、デバイスの管理を行う画面です。
Menu画面（サイドメニュー）［デバイス編集モード］：デバイス編集、追加、削除を行う画面
Menu画面（サイドメニュー）［デバイス並び替えモード］：デバイス並び替えを行う画面。デバイス編集モードでDevices Reorderボタンをタップすることで切り替えられる

Menu Screen（Side Menu）[Device Edit Mode]



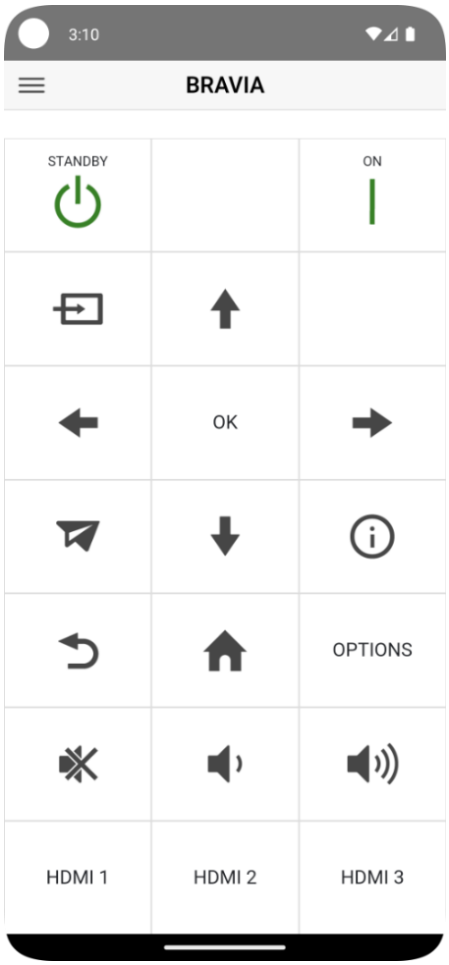
Menu Screen（Side Menu）[Device Reorder Mode]



GUI	名称	機能	モード
1	Device Settings ボタン	Edit Deviceダイアログを表示する。	デバイス編集モード
2	Delete ボタン	登録したデバイス(ブラビア/プロジェクター)を削除する。	デバイス編集モード
3	Add Device ボタン	操作対象のデバイス(ブラビア/プロジェクター)を新規追加する。	デバイス編集モード
4	App Settings ボタン	App Settingsダイアログを表示する。	デバイス編集モード
5	About ボタン	Aboutダイアログを表示する。	デバイス編集モード
6	Devices Reorder ボタン	デバイス並び替えモードに移行する。	デバイス編集モード
7	Reorder Drag アイコン	デバイスを選択し、上下にスワイプして並び替えをする。	デバイス並び替えモード
8	Reorder Arrow ボタン	ボタンをタップし、デバイスを上下に並び替える。	デバイス並び替えモード
9	Back ボタン	デバイス編集モードに移行する。	デバイス並び替えモード
10	Devices アイコン	デバイスの電源状態が表示される。 状態: 電源オン(緑色)、電源オフ(黒色)、電源状態不明(グレー) DevicesTypeを「Group」に設定した場合は電源状態の表示はされない。	デバイス編集モード デバイス並び替えモード

4.3. Remote画面 - TV (BRAVIA)

DevicesTypeを「TV （BRAVIA)」に指定した場合のRemote画面です。



[鍵アイコンの表示] （HTTPS通信をサポートするモデルのみ）
・HTTPS通信による操作に成功した場合、右上に鍵アイコンが表示されます。HTTPS通信の失敗もしくはHTTP通信の場合は非表示になります。

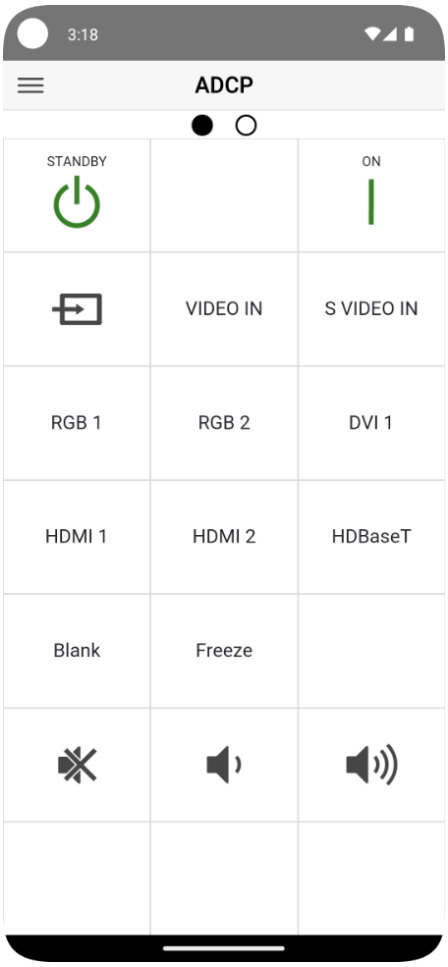
・Menu画面でHTTPS通信による電源状態取得に成功した場合、該当TVのRemote画面を開くと右上に鍵アイコンが表示されます。

・Edit Deviceダイアログで「Close」ボタンを押してRemote画面に遷移するとリセットされ、非表示になります。

ボタン	名称	機能	ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする。		Power On	電源をONする。
	Input	入力を切り替える。	OK	OK	選んだ項目を決定する。
	Up	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)		Down	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)
	Left	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)		Right	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)
	App Launcher	HTMLアプリを起動する。 (一部のモデルで機能無効)		Info	チャンネルや番組情報、時計などの表示/非表示を切り換える。
	Return	前の画面に戻る。		Home	選んだ項目を決定するホームメニューを表示する。
OPTIONS	OPTIONS	選んだ項目を決定するオプションメニューを表示する。		Mute Toggle	音声を消す。もう一度タップすると音声が出る。
	Vol Down	音声を下げる。 (長押し可能)		Vol Up	音声を上げる。 (長押し可能)
HDMI 1	HDMI 1	HDMI 1に切り替える	HDMI 2	HDMI 2	HDMI 2に切り替える
HDMI 3	HDMI 3	HDMI 3に切り替える			

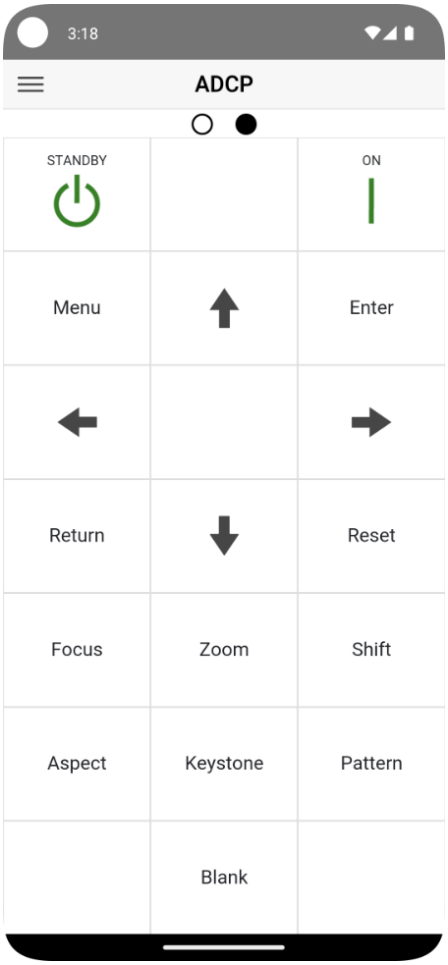
4.4. Remote画面 - PJ (ADCP)

DevicesTypeを「PJ (ADCP)」に指定した場合のRemote画面の1枚目です。



ボタン	名称	機能	ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする。		Power On	電源をONする。
	Input	入力を切り替える。	VIDEO IN	VIDEO IN	VIDEO INに入力を切り替える。
S VIDEO IN	S VIDEO IN	S VIDEO INに入力を切り替える。	RGB 1	RGB 1	RGB 1に入力を切り替える。
RGB 2	RGB 2	RGB 2に入力を切り替える。	DVI 1	DVI 1	DVI 1に入力を切り替える。
HDMI 1	HDMI 1	HDMI 1に入力を切り替える。	HDMI 2	HDMI 2	HDMI 2に入力を切り替える。
HDBaseT	HDBaseT	HDBaseTに入力を切り替える。	Blank	Blank	一時的に映像を消す。もう一度押すと解除する。
Freeze	Freeze	一時的に映像を静止する。もう一度タップと解除する。 コンピューター信号を入力しているときに使用できる。		Mute Toggle	音声を消す。もう一度タップすると音声が出る。
	Vol Down	音声を下げる。 (長押し可能)		Vol Up	音声を上げる。 (長押し可能)

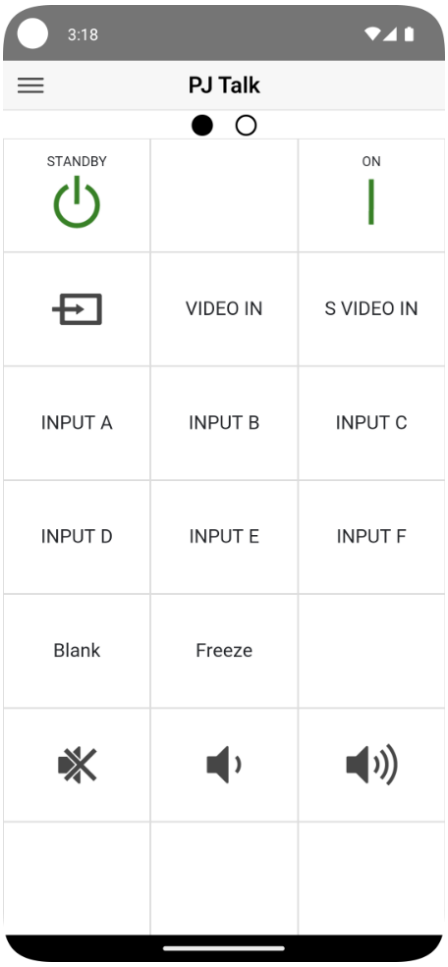
DevicesTypeを「PJ (ADCP)」に指定した場合のRemote画面の2枚目です。



ボタン	名称	機能	ボタン	名称	機能
⏻	Power Off	電源をOFFする。	|	Power On	電源をONする。
Menu	Menu	選んだ項目を決定する。	Enter	Enter	選んだ項目を決定する。
↑	Up	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)	↓	Down	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)
←	Left	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)	→	Right	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)
Return	Return	前の画面に戻る。	Reset	Reset	元の状態に戻る。
Focus	Focus	レンズフォーカスを調整する。	Zoom	Zoom	レンズズームを調整する。
Shift	Shift	レンズシフトを調整する。	Aspect	Aspect	投写している画面の縦横比を変更する。
Keystone	Keystone	キーストーンを調整する。	Pattern	Pattern	調整用パターンを表示する。
Blank	Blank	一時的に映像を消す。もう一度タップと解除する。			

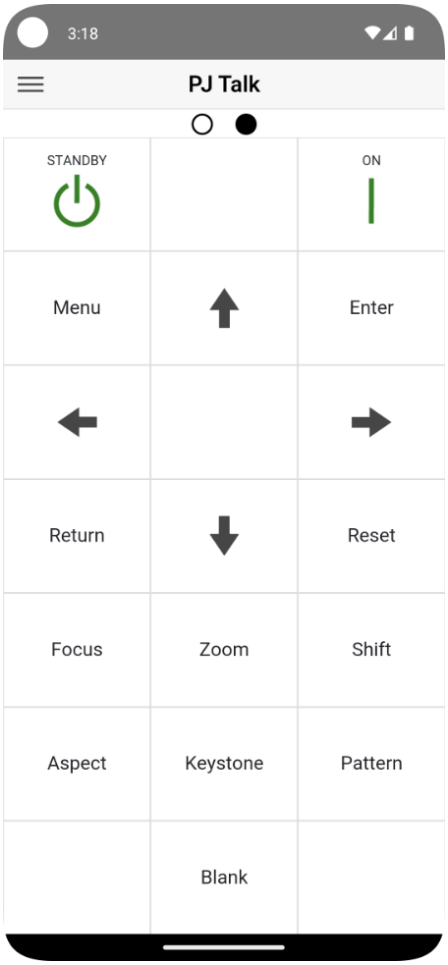
4.5. Remote画面 - PJ (PJ Talk)

DevicesTypeを「PJ (PJ Talk)」に指定した場合のRemote画面の1枚目です。



ボタン	名称	機能	ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする。		Power On	電源をONする。
	Input	入力を切り替える。	VIDEO IN	VIDEO IN	VIDEO INに入力を切り替える。
S VIDEO IN	S VIDEO IN	S VIDEO INに入力を切り替える。	INPUT A	INPUT A	INPUT Aに入力を切り替える。
INPUT B	INPUT B	INPUT Bに入力を切り替える。	INPUT C	INPUT C	INPUT Cに入力を切り替える。
INPUT D	INPUT D	INPUT Dに入力を切り替える。	INPUT E	INPUT E	INPUT Eに入力を切り替える。
INPUT F	INPUT F	INPUT Fに入力を切り替える。	Blank	Blank	一時的に映像を消す。もう一度タップと解除する。
Freeze	Freeze	一時的に映像を静止する。もう一度タップと解除する。 コンピューター信号を入力しているときに使用できる。		Mute Toggle	音声を消す。もう一度タップすると音声が出る。
	Vol Down	音声を下げる。 (長押し可能)		Vol Up	音声を上げる。 (長押し可能)

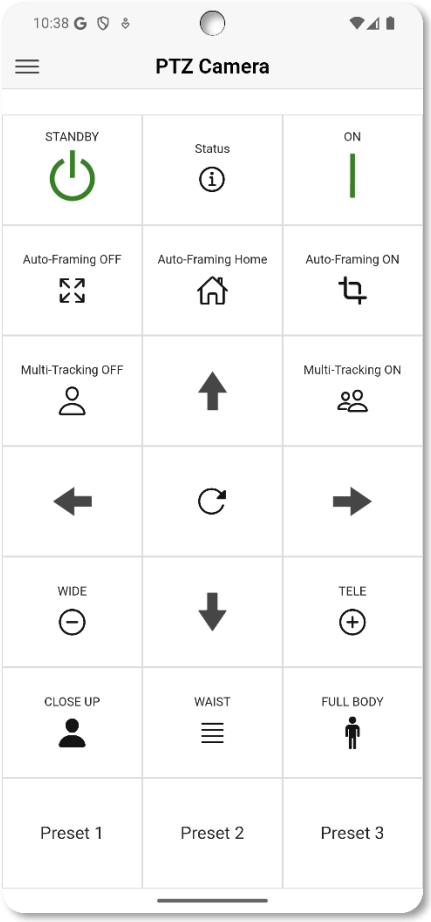
DevicesTypeを「PJ (PJ Talk)」に指定した場合のRemote画面の2枚目です。



ボタン	名称	機能	ボタン	名称	機能
⏻	Power Off	電源をOFFする。	|	Power On	電源をONする。
Menu	Menu	選んだ項目を決定する。	Enter	Enter	選んだ項目を決定する。
↑	Up	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)	↓	Down	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)
←	Left	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)	→	Right	画面上の項目を選ぶ (長押し可能)
Return	Return	前の画面に戻る。	Reset	Reset	元の状態に戻る。
Focus	Focus	レンズフォーカスを調整する。	Zoom	Zoom	レンズズームを調整する。
Shift	Shift	レンズシフトを調整する。	Aspect	Aspect	投写している画面の縦横比を変更する。
Keystone	Keystone	キーストーンを調整する。	Pattern	Pattern	調整用パターンを表示する。
Blank	Blank	一時的に映像を消す。もう一度タップと解除する。			

4.6. Remote画面 - PTZカメラ

DevicesTypeを「PTZ Camera」に指定した場合のRemote画面です。



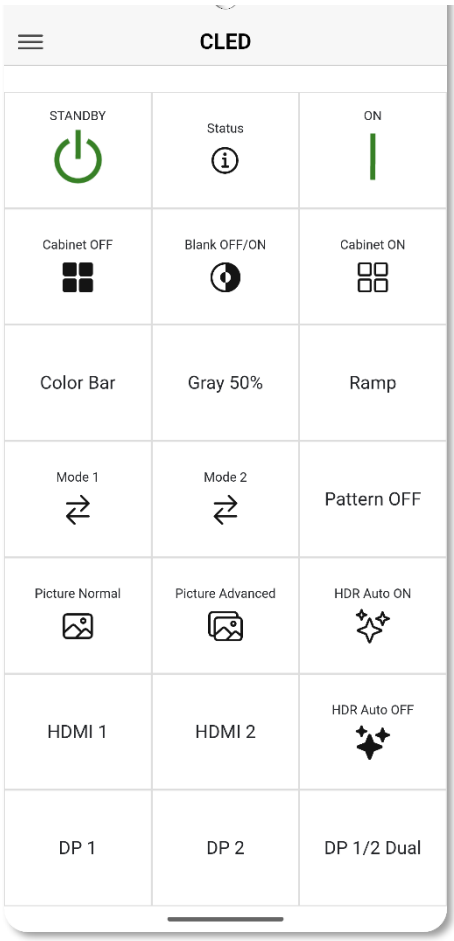
ボタン	名称	機能		ボタン	名称	機能

	Power Off	電源をOFFする。
	Status	機種情報や撮影の各設定値を表示
	Auto Framing Home	PTZ Auto Framing の追尾開始位置に移動する
	Multitracking On	追尾人数を設定する
	Up	カメラを上方向に移動する(長押し可能)
	Left	カメラを左方向に移動する(長押し可能)
	Move Home	カメラをホーム位置に移動する
	Zoom Tele	ズームインする(長押し可能)
	Waist	追尾時、人の腰から上を撮影対象とする
Preset 1	Preset 1	プリセット 1を呼び出す
Preset 3	Preset 3	プリセット 3を呼び出す

	Power On	電源をONする。
	Auto Framing Off	PTZ Auto Framing の追尾を終了する
	Auto Framing On	PTZ Auto Framing の追尾を開始する
	Multitracking Off	複数人追尾をOFFする（追尾人数を1人に設定する）
	Down	カメラを下方向に移動する(長押し可能)
	Right	カメラを右方向に移動する(長押し可能)
	Zoom Wide	ズームアウトする(長押し可能)
	Close Up	追尾時、人の胸から上を撮影対象とする
	Full Body	追尾時、人の全身を撮影対象とする
Preset 2	Preset 2	プリセット 2を呼び出す

4.7. Remote画面 - CLED

DevicesTypeを「CLED」に指定した場合のRemote画面です。



ボタン	名称	機能	ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする		Power On	電源をONする。
	Status	入力信号の情報を表示		Cabinet Off	Power ON中に CabinetをOFF状態（映像が映らない状態）にする
	Cabinet On	Power ON中に CabinetをON状態（映像が映る状態）にする		Blank Toggle	Cabinetに黒画を表示する。もう1度タップすると黒画表示を解除する
Color Bar	Color Bar	Color Barパターンを表示する	Gray 50%	Gray 50%	Gray 50%パターンを表示する
Ramp	Ramp	Rampパターンを表示する		Mode 1	画質モード 1に設定する
	Mode 2	画質モード 2に設定する	Pattern OFF	Pattern Off	パターン表示を解除する
	Picture Normal	選択されている画質モードの Advanced Picture機能をOFFにする		Picture Advanced	選択されている画質モードの Advanced Picture機能をONにする
	HDR Auto On	選択されている画質モードのHDR Auto機能をONにする		HDR Auto Off	選択されている画質モードのHDR Auto機能をOFFにする
HDMI 1	HDMI 1	HDMI 1に入力を切り替える	HDMI 2	HDMI 2	HDMI 2に入力を切り替える
DP 1	DP 1	入力をDisplayPort 1に切り替える	DP 2	DP 2	入力をDisplayPort 2に切り替える
DP 1/2 Dual	DP Dual	入力をDisplayPort Dual (DP1&DP2の両入力)に切り替える			

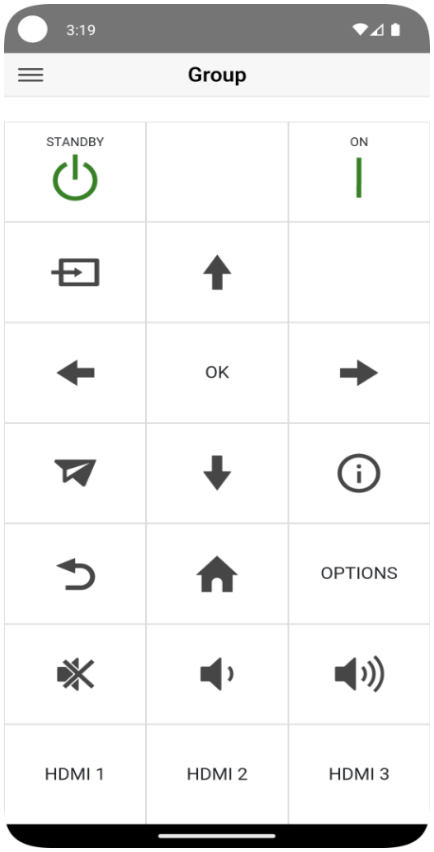
4.8. Remote画面 - Group : TV (BRAVIA)のみ

DevicesTypeを「Group」に設定し、「TV (BRAVIA)」のみを選択した場合のRemote画面です。

[鍵アイコンの表示] (HTTPS通信をサポートするモデルのみ)
・グループ内のすべてのBRAVIAに対してHTTPS通信による操作に成功した場合、右上に鍵アイコンが表示されます。HTTPS通信の失敗もしくはHTTP通信の場合は非表示になります。

・Menu画面でグループ内のすべてのBRAVIAに対してHTTPS通信による電源状態取得に成功した場合、該当グループのRemote画面を開くと右上に鍵アイコンが表示されます。

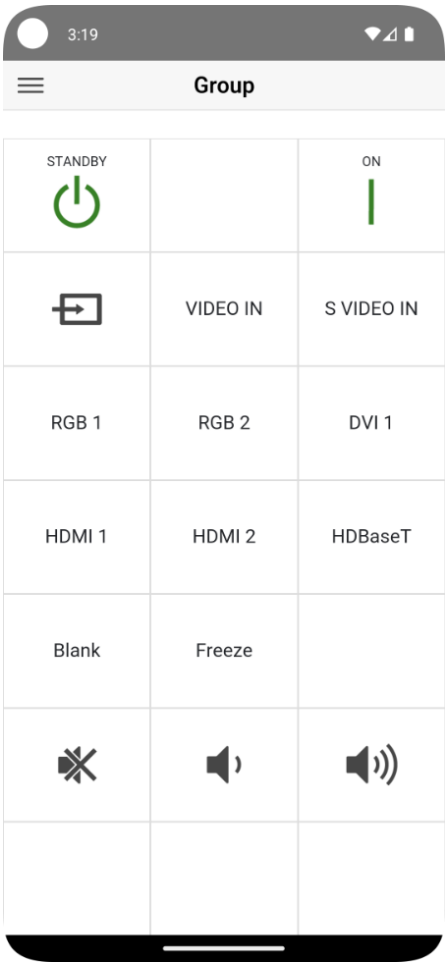
・Edit Deviceダイアログで「Close」ボタンを押してRemote画面に遷移するとリセットされ、非表示になります。



ボタン	名称	機能	ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする。		Power On	電源をONする。
	Input	入力を切り替える。	OK	OK	選んだ項目を決定する。
	Up	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)		Down	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)
	Left	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)		Right	画面上の項目を選ぶ。 (長押し可能)
	App Launcher	HTMLアプリを起動する。 (一部のモデルで機能無効)		Info	チャンネルや番組情報、時計などの表示/非表示を切り換える。
	Return	前の画面に戻る。		Home	選んだ項目を決定するホームメニューを表示する。
OPTIONS	OPTIONS	選んだ項目を決定するオプションメニューを表示する。		Mute Toggle	音声を消す。もう一度タップすると音声が出る。
	Vol Down	音声を下げる。 (長押し可能)		Vol Up	音声を上げる。 (長押し可能)
HDMI 1	HDMI 1	HDMI 1に切り替える。	HDMI 2	HDMI 2	HDMI 2に切り替える。
HDMI 3	HDMI 3	HDMI 3に切り替える。			

4.9. Remote画面 - Group : PJ (ADCP)のみ

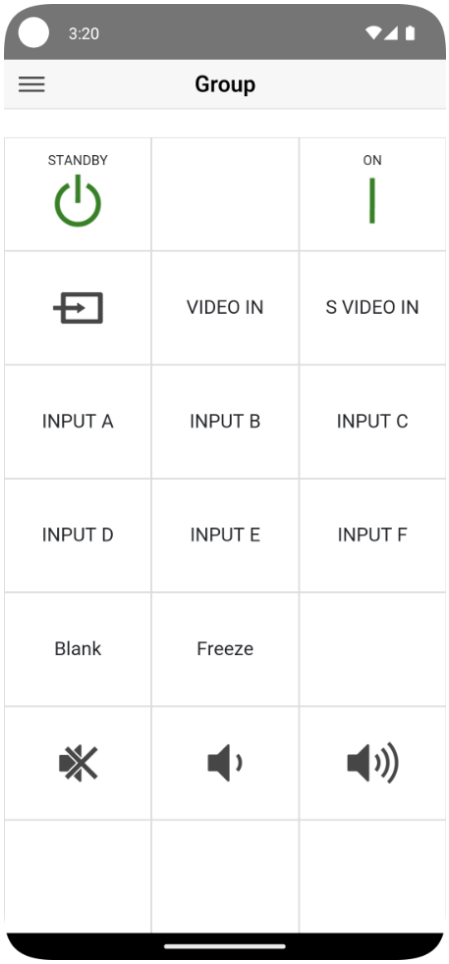
DevicesTypeを「Group」に設定し、「PJ (ADCP)」のみを選択した場合のRemote画面です。



ボタン	名称	機能	ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする。		Power On	電源をONする。
	Input	入力を切り替える。	VIDEO IN	VIDEO IN	VIDEO INに入力を切り替える。
S VIDEO IN	S VIDEO IN	S VIDEO INに入力を切り替える。	RGB 1	RGB 1	RGB 1に入力を切り替える。
RGB 2	RGB 2	RGB 2に入力を切り替える。	DVI 1	DVI 1	DVI 1に入力を切り替える。
HDMI 1	HDMI 1	HDMI 1に入力を切り替える。	HDMI 2	HDMI 2	HDMI 2に入力を切り替える。
HDBaseT	HDBaseT	HDBaseTに入力を切り替える。	Blank	Blank	一時的に映像を消す。もう一度押すと解除する。
Freeze	Freeze	一時的に映像を静止する。もう一度タップと解除する。 コンピューター信号を入力しているときに使用できる。		Mute Toggle	音声を消す。もう一度タップすると音声が出る。
	Vol Down	音声を下げる。 (長押し可能)		Vol Up	音声を上げる。 (長押し可能)

4.10. Remote画面 - Group : PJ (PJ Talk)のみ

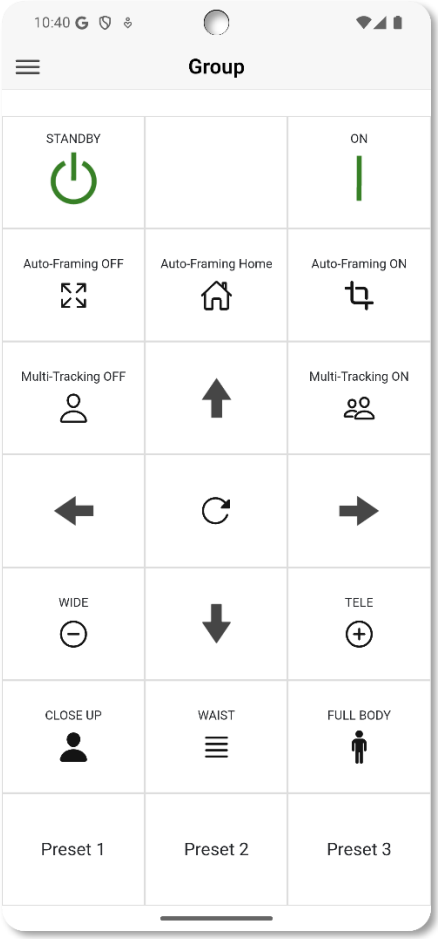
DevicesTypeを「Group」に設定し、「PJ (PJ Talk)」のみを選択した場合のRemote画面です。



ボタン	名称	機能	ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする。		Power On	電源をONする。
	Input	入力を切り替える。	VIDEO IN	VIDEO IN	VIDEO INに入力を切り替える。
S VIDEO IN	S VIDEO IN	S VIDEO INに入力を切り替える。	INPUT A	INPUT A	INPUT Aに入力を切り替える。
INPUT B	INPUT B	INPUT Bに入力を切り替える。	INPUT C	INPUT C	INPUT Cに入力を切り替える。
INPUT D	INPUT D	INPUT Dに入力を切り替える。	INPUT E	INPUT E	INPUT Eに入力を切り替える。
INPUT F	INPUT F	INPUT Fに入力を切り替える。	Blank	Blank	一時的に映像を消す。もう一度タップと解除する。
Freeze	Freeze	一時的に映像を静止する。もう一度タップと解除する。 コンピューター信号を入力しているときに使用できる。		Mute Toggle	音声を消す。もう一度タップすると音声が出る。
	Vol Down	音声を下げる。 (長押し可能)		Vol Up	音声を上げる。 (長押し可能)

4.11. Remote画面 - Group : PTZカメラのみ

DevicesTypeを「Group」に設定し、「PTZ Camera」のみを選択した場合のRemote画面です。

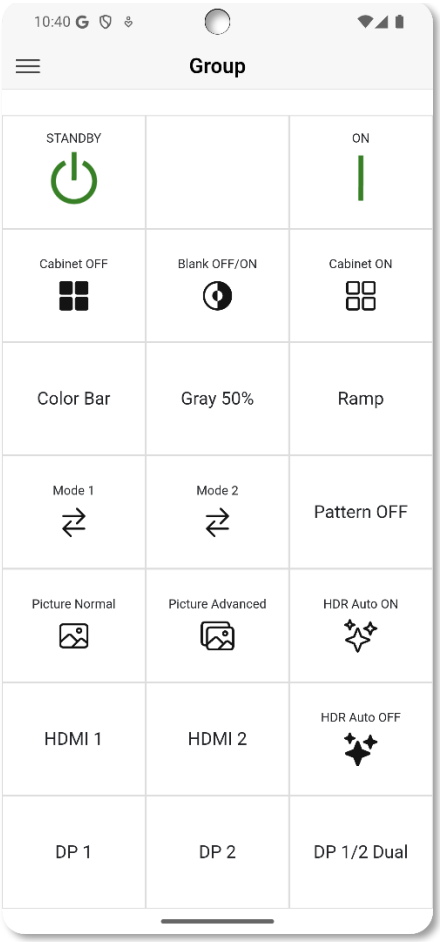


ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする。
	Auto Framing Home	PTZ Auto Framing の追尾開始位置に移動する
	Multitracking On	追尾人数を設定する
	Up	カメラを上方向に移動する(長押し可能)
	Left	カメラを左方向に移動する(長押し可能)
	Move Home	カメラをホーム位置に移動する
	Zoom Tele	ズームインする(長押し可能)
	Waist	追尾時、人の腰から上を撮影対象とする
Preset 1	Preset 1	プリセット 1を呼び出す
Preset 3	Preset 3	プリセット 3を呼び出す

ボタン	名称	機能
	Power On	電源をONする。
	Auto Framing Off	PTZ Auto Framing の追尾を終了する
	Auto Framing On	PTZ Auto Framing の追尾を開始する
	Multitracking Off	複数人追尾をOFFする（追尾人数を1人に設定する）
	Down	カメラを下方向に移動する(長押し可能)
	Right	カメラを右方向に移動する(長押し可能)
	Zoom Wide	ズームアウトする(長押し可能)
	Close Up	追尾時、人の胸から上を撮影対象とする
	Full Body	追尾時、人の全身を撮影対象とする
Preset 2	Preset 2	プリセット 2を呼び出す

4.12. Remote画面 - Group : CLEDのみ

DevicesTypeを「Group」に設定し、「CLED」のみを選択した場合のRemote画面です。

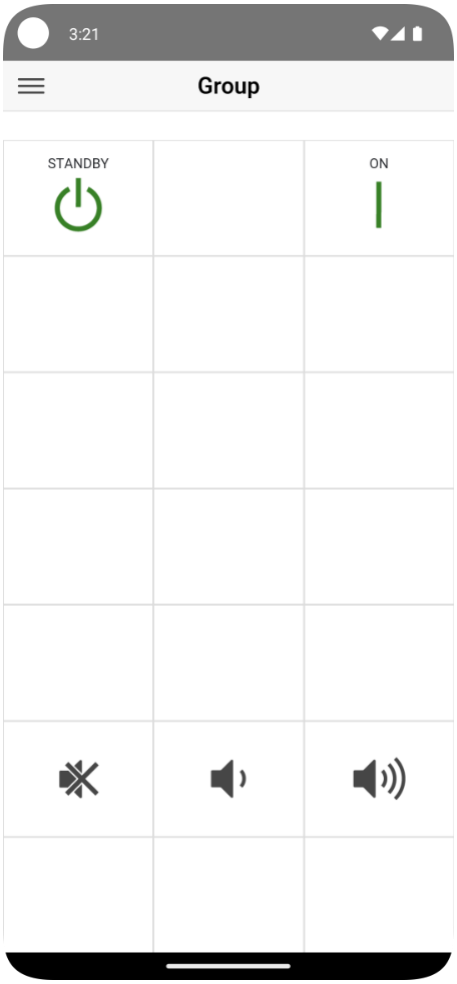


ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする
	Cabinet On	Power ON中に CabinetをON状態（映像が映る状態）にする
Color Bar	Color Bar	Color Barパターンを表示する
Ramp	Ramp	Rampパターンを表示する
	Mode 2	画質モード 2に設定する
	Picture Normal	選択されている画質モードの Advanced Picture機能をOFFにする
	HDR Auto On	選択されている画質モードのHDR Auto機能をONにする
HDMI 1	HDMI 1	HDMI 1に入力を切り替える
DP 1	DP 1	入力をDisplayPort 1に切り替える
DP 1/2 Dual	DP Dual	入力をDisplayPort Dual (DP1&DP2の両入力)に切り替える

ボタン	名称	機能
	Power On	電源をONする。
	Cabinet Off	Power ON中に CabinetをOFF状態（映像が映らない状態）にする
	Blank Toggle	Cabietに黒画を表示する。もう1度タップすると黒画表示を解除する
Gray 50%	Gray 50%	Gray 50%パターンを表示する
	Mode 1	画質モード 1に設定する
Pattern OFF	Pattern Off	パターン表示を解除する
	Picture Advanced	選択されている画質モードの Advanced Picture機能をONにする
	HDR Auto Off	選択されている画質モードのHDR Auto機能をOFFにする
HDMI 2	HDMI 2	HDMI 2に入力を切り替える
DP 2	DP 2	入力をDisplayPort 2に切り替える

4.13. Remote画面 - Group : TV (BRAVIA) & PJ (ADCP)

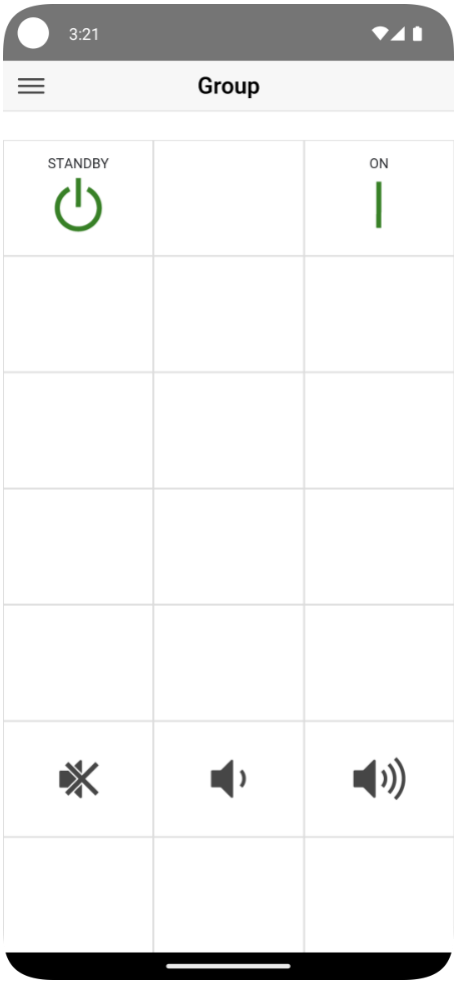
DevicesTypeを「Group」に設定し、「TV (BRAVIA)」と「PJ (ADCP)」を選択した場合のRemote画面です。



ボタン	名称	機能		ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする。			Power On	電源をONする。
	Mute Toggle	音声を消す。もう一度タップすると音声が出る。			Vol Down	音声を下げる。(長押し可能)
	Vol Up	音声を上げる。(長押し可能)				

4.14. Remote画面 - Group: TV (BRAVIA) & PJ (PJ Talk)

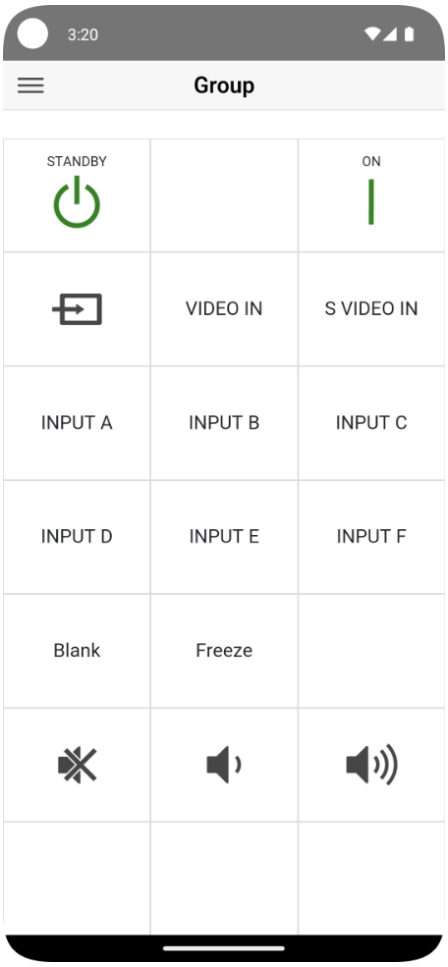
DevicesTypeを「Group」に設定し、「TV (BRAVIA)」と「PJ (PJ Talk)」を選択した場合のRemote画面です。



ボタン	名称	機能		ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする。			Power On	電源をONする。
	Mute Toggle	音声を消す。もう一度タップすると音声が出る。			Vol Down	音声を下げる。(長押し可能)
	Vol Up	音声を上げる。(長押し可能)				

4.15. Remote画面 - Group : PJ (ADCP) & PJ (PJ Talk)

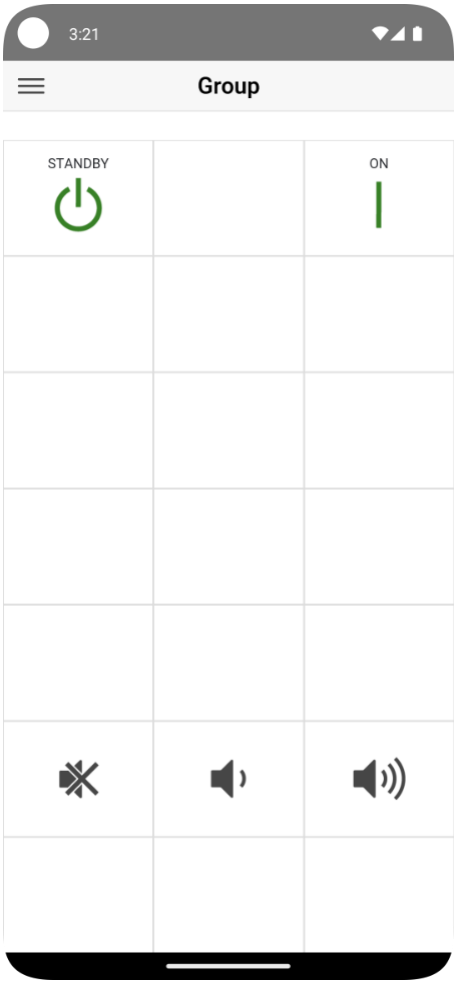
DevicesTypeを「Group」に設定し、「PJ (ADCP)」と「PJ (PJ Talk)」を選択した場合のRemote画面です。



ボタン	名称	機能	ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする。		Power On	電源をONする。
	Input	入力を切り替える。	VIDEO IN	VIDEO IN	VIDEO INに入力を切り替える。
S VIDEO IN	S VIDEO IN	S VIDEO INに入力を切り替える。	INPUT A	INPUT A	INPUT Aに入力を切り替える。
INPUT B	INPUT B	INPUT Bに入力を切り替える。	INPUT C	INPUT C	INPUT Cに入力を切り替える。
INPUT D	INPUT D	INPUT Dに入力を切り替える。	INPUT E	INPUT E	INPUT Eに入力を切り替える。
INPUT F	INPUT F	INPUT Fに入力を切り替える。	Blank	Blank	一時的に映像を消す。もう一度タップと解除する。
Freeze	Freeze	一時的に映像を静止する。もう一度タップと解除する。 コンピューター信号を入力しているときに使用できる。		Mute Toggle	音声を消す。もう一度タップすると音声が出る。
	Vol Down	音声を下げる。 (長押し可能)		Vol Up	音声を上げる。 (長押し可能)

4.16. Remote画面 Group :TV(BRAVIA)& PJ(ADCP) & PJ (PJ Talk)

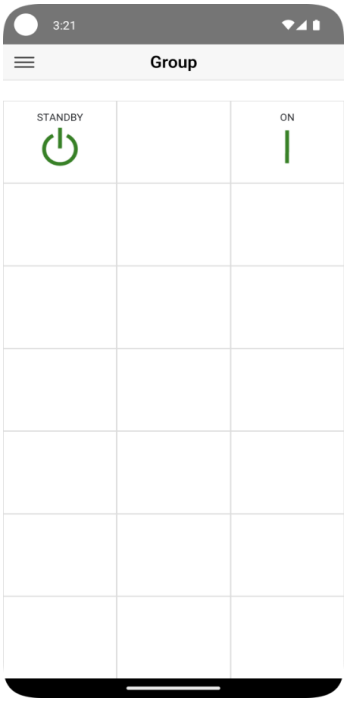
DevicesTypeを「Group」に設定し、「TV （BRAVIA)」と「PJ (ADCP)」、および「PJ（PJ Talk)」を選択した場合のRemote画面です。



ボタン	名称	機能		ボタン	名称	機能
	Power Off	電源をOFFする。			Power On	電源をONする。
	Mute Toggle	音声を消す。もう一度タップすると音声が出る。			Vol Down	音声を下げる。(長押し可能)
	Vol Up	音声を上げる。(長押し可能)				

4.17. Remote画面 - Group : PTZカメラ & その他デバイス

DevicesTypeを「Group」に設定し、「PTZ Camera」とそれ以外のデバイスを選択した場合のRemote画面です。



ボタン	名称	機能		ボタン	名称	機能
⏻	Power Off	電源をOFFする。		|	Power On	電源をONする。

4.18. Remote画面 - Group : CLED & その他デバイス

DevicesTypeを「Group」に設定し、「CLED」とそれ以外のデバイスを選択した場合のRemote画面です。

ボタン	名称	機能		ボタン	名称	機能
⏻	Power Off	電源をOFFする。		|	Power On	電源をONする。

5. 使い方

ここでは、IP　Remoteアプリの使い方について説明します。

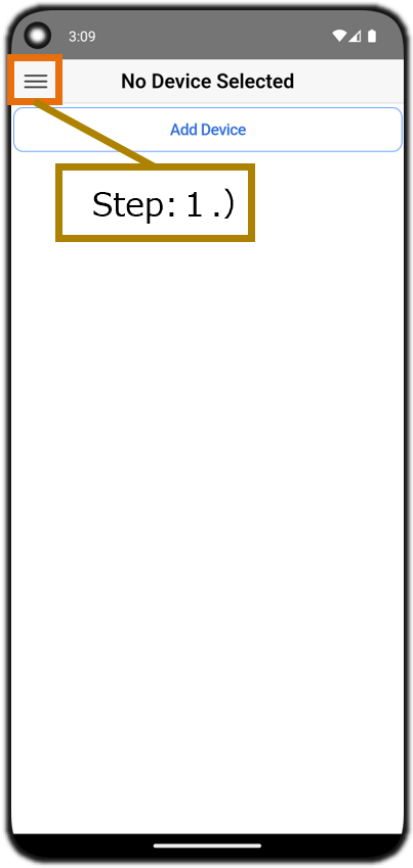
5.1. IP Remoteアプリを起動する

モバイル端末のアプリ一覧から IP Remoteアプリ のアイコンをタップし、
IP Remoteアプリを起動する。

アイコンイメージ	モバイル端末
	Android
	iOS

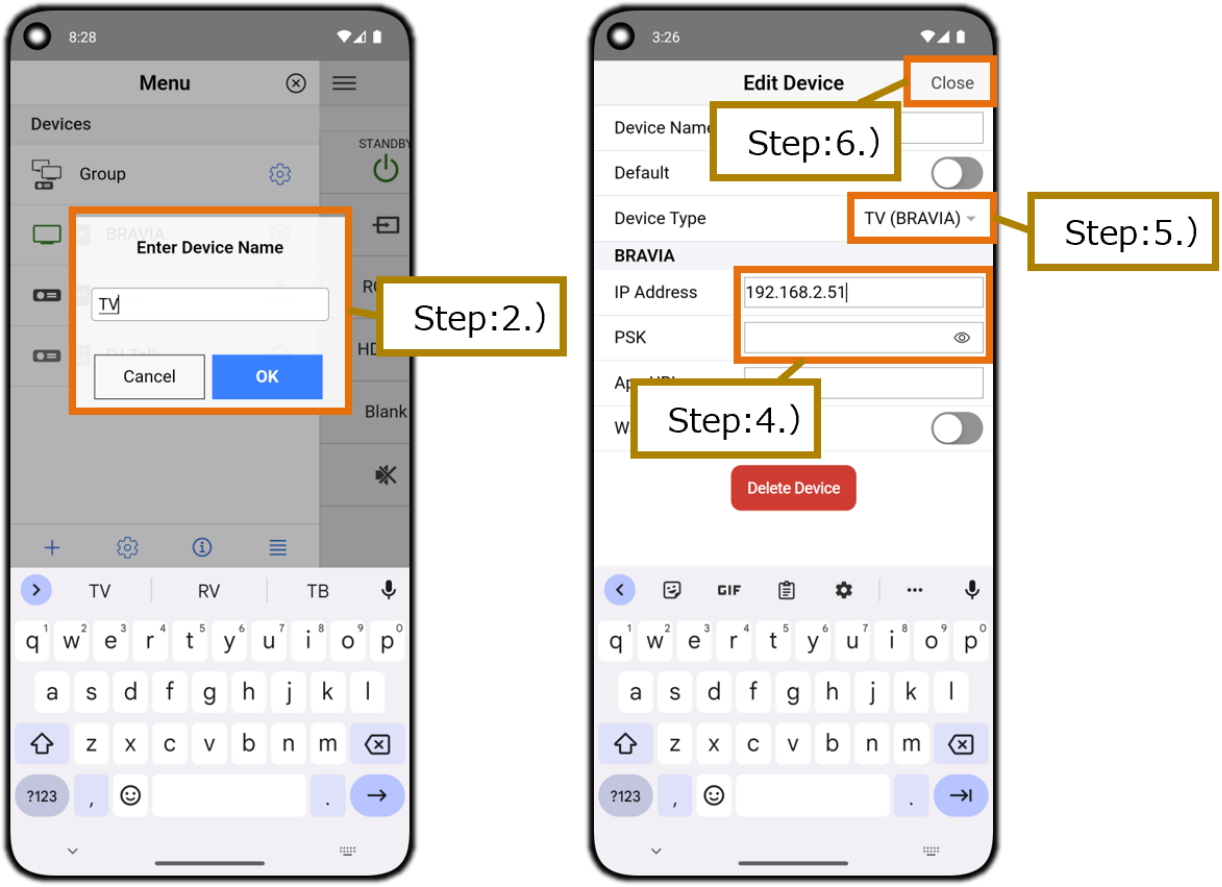
5.2. Menu画面(サイドメニュー)を表示する

1. No Device Selected画面、またはRemote画面でSide Menuボタンをタップする。



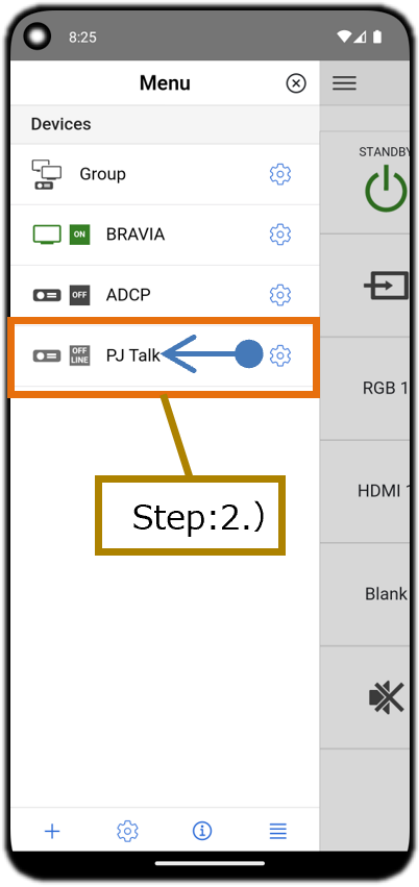
5.3. 操作対象のデバイスを新規追加する

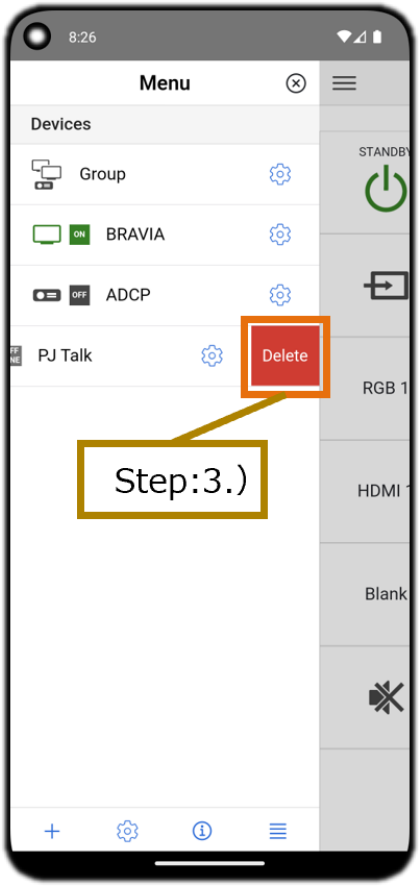
1. No Device Selected画面でAdd Deviceボタンをタップする。またはMenu画面 (サイドメニュー)でAdd Deviceボタンをタップする。
2. Enter Device Nameダイアログが表示されるので任意のデバイス名称を入力し、OKボタンをタップする。
3. Menu画面 (サイドメニュー)でデバイス一覧から、追加したデバイスのDevice Settingsボタンをタップする。
4. Edit Deviceダイアログで操作対象のデバイスのIPを入力する。 不特定の相手から操作されないように、デバイスが認証を有効にしている場合は、PSK(Pre-shared key)の入力も行います。詳しくは下記を参照のこと。
   - “5.12. 不特定の相手から操作されないように、デバイスが認証を有効にしている場合”
5. Device Type を選択する。
   - ブラビアの場合は、「TV (BRAVIA)」を選択する。
   - プロジェクターの場合は、「PJ (ADCP)」、または「PJ (SDCP)」を選択する。
   - PTZカメラの場合は、「PTZ Camera」を選択する。
   - Crystal LEDディスプレイコントローラーの場合は、「CLED」を選択する。
6. Edit Deviceダイアログの右上にあるCloseボタンをタップする。



5.4. 登録したデバイスを削除する

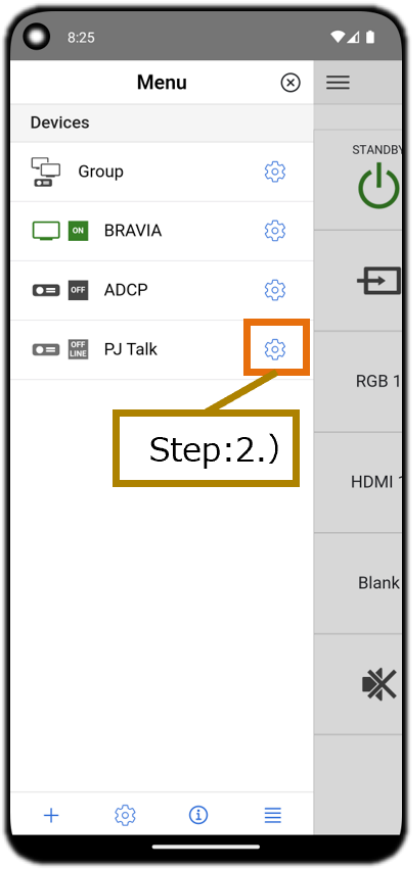
1. Remote画面でSide Menuボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。
2. Menu画面 (サイドメニュー)でデバイス一覧から削除したいデバイスを左へスワイプして、Deleteボタンを表示する。
3. Deleteボタンをタップする。





もしくは以下の手順でも削除できます。

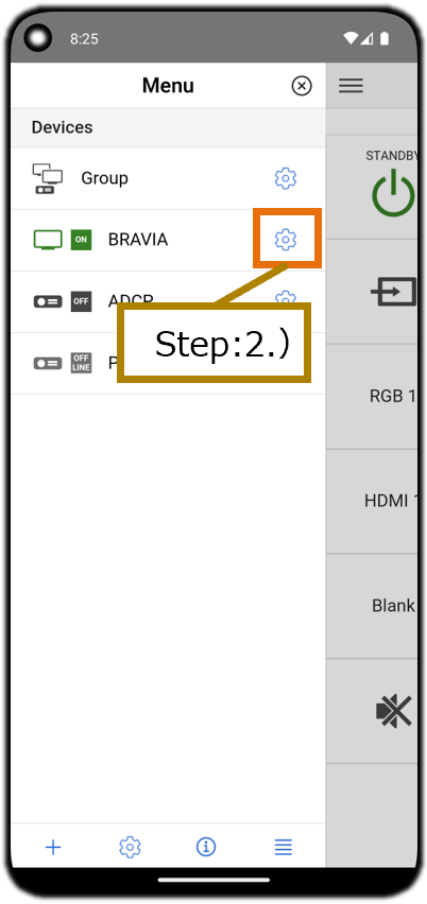
1. Remote画面でSide Menuボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。
2. Menu画面 (サイドメニュー)でデバイス一覧から削除したいデバイスのDevice Settingsボタンをタップする。
3. Edit DeviceダイアログでDelete Deviceボタンをタップする
4. Delete DeviceダイアログでDeleteボタンをタップする。

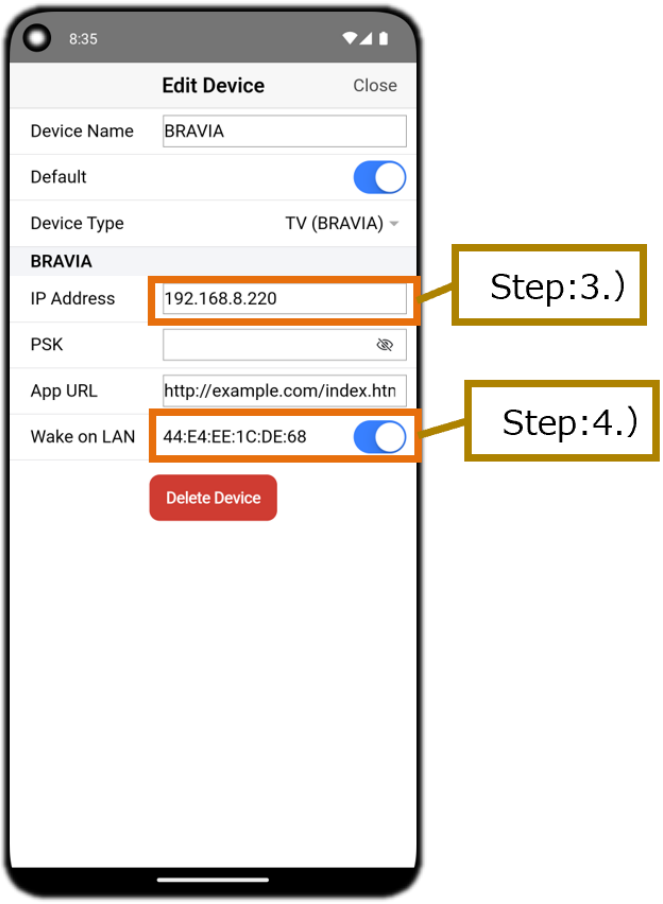

8:25
Menu
Devices
Group
BRAVIA
ADCP
PJ Talk
Step:2.)
RGB 1
HDMI
Blank

8:35
Edit Device
Close
Device Name
BRAVIA
Default
Device Type
TV (BRAVIA)
BRAVIA
IP Address
192.168.8.220
PSK
App URL
http://example.com/index.htn
Wake on LAN
44:E4:EE:1C:DE:68
Delete Device
Step:3.)

5.5. Wake on LAN機能でTVの電源をONする [ブラビアのみ]

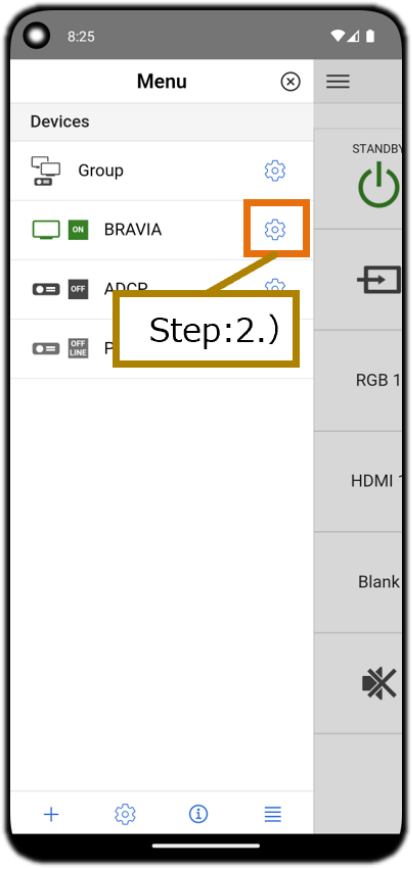
1. Remote画面でSide Menuボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。
2. Menu画面 (サイドメニュー)でデバイス一覧からWake on LAN機能で電源をONしたいデバイスのDevice Settingsボタンをタップする。
3. Edit Deviceダイアログで操作対象のデバイスのIPを入力する。
4. Edit DeviceダイアログでWake on LANのトグルボタンをタップして有効にする。 操作対象のデバイスのMACアドレスが表示される。
5. Edit Deviceダイアログの右上にあるCloseボタンをタップする。
6. Remote画面でPower Onボタンをタップして、TVの電源をONする。





5.6. App Launcherボタンで起動させるHTMLアプリを指定する [ブラビアのみ]

1. Remote画面でSide Menuボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。
2. Menu画面 (サイドメニュー)でデバイス一覧からApp Launcherボタンの設定を行いたいデバイスのDevice Settingsボタンをタップする。
3. Edit DeviceダイアログでApp URLにApp Launcherボタンで起動させるHTMLアプリのURLを設定する。

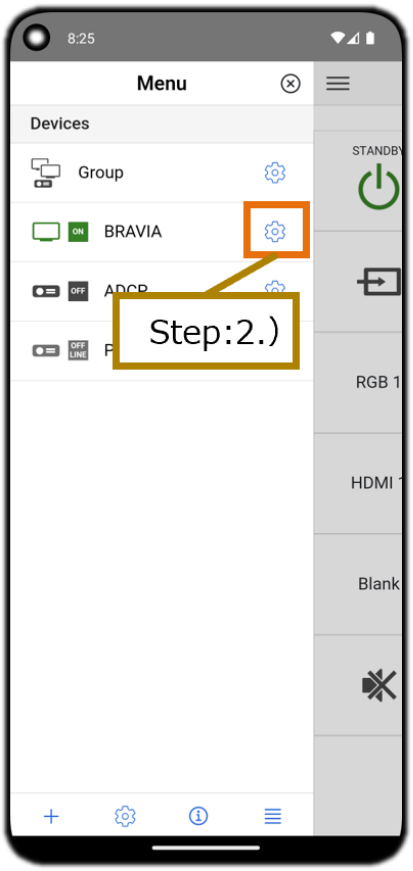


5.7. PTZオートフレーミングの追尾人数変更する[PTZカメラのみ]

1. Remote画面でSide Menuボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。
2. Menu画面 (サイドメニュー)でデバイス一覧からPTZカメラのDevice Settingsボタンをタップする。
3. Edit DeviceダイアログでMulti Trackingの値を指定したい追尾人数に変更し、Closeボタンをタップする。
4. Remote画面でMultitracking Onボタンをタップして追尾人数を変更する。

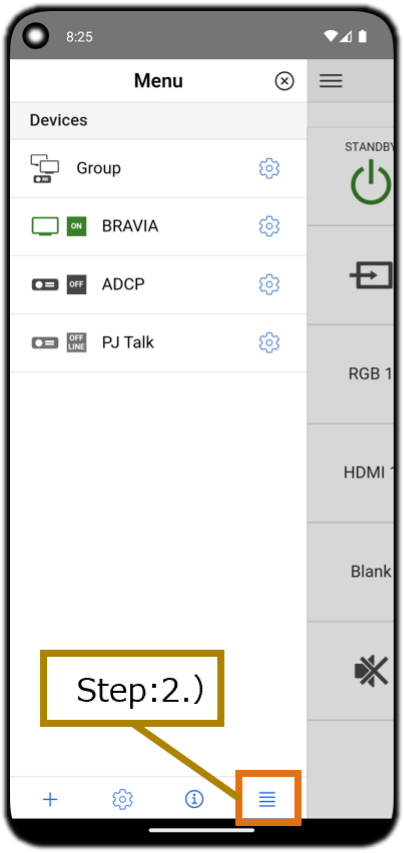
5.8. IP Remoteアプリ起動時のデバイスを指定する

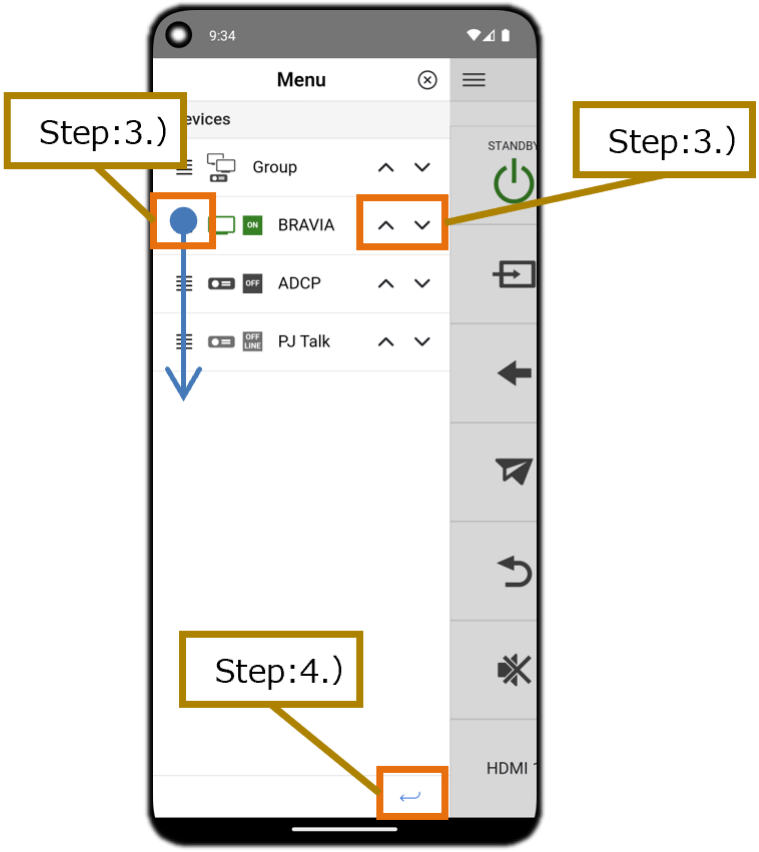
5. Remote画面でSide Menuボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。
6. Menu画面 (サイドメニュー)でデバイス一覧からIP Remoteアプリ起動時のデバイスに指定したいデバイスのDevice Settingsボタンをタップする。
7. Edit Deviceダイアログでの Defaultのトグルボタンをタップして有効にする。



5.9. デバイス一覧の並びを変更する

1. Remote画面でSide Menuボタンをタップして、Menu画面（サイドメニュー）を表示させる。
2. Menu画面（サイドメニュー）でDevices Reorderボタンをタップし、デバイス一覧の各デバイスにReorder Dragアイコンと Reorder Arrowボタンを表示させる。
3. Reorder Dragアイコンを上下にスワイプしてデバイス一覧の並びを入れ替える。もしくはReorder Arrowボタンをタップしてデバイスを上下に並び替える。
4. Backボタンをタップし並び替えを完了する。





5.10. ブラビアを操作する

Remote画面 - TV (BRAVIA) を表示してボタンをタップする。 各ボタンの機能については下記を参照のこと。

- “4.3 Remote画面 - TV (BRAVIA)”

5.11. プロジェクターを操作する

Remote画面 - PJ (ADCP)、または Remote画面 - PJ (SDCP) を表示してボタンをタップする。 各ボタンの機能については下記を参照のこと。

- “4.4 Remote画面 - PJ (ADCP) ”
- “4.5 Remote画面 - PJ (PJ Talk) ”

5.12. PTZカメラを操作する

Remote画面 - PTZカメラを表示してボタンをタップする。 各ボタンの機能については下記を参照のこと。

- “4.6 Remote画面 - PTZカメラ”

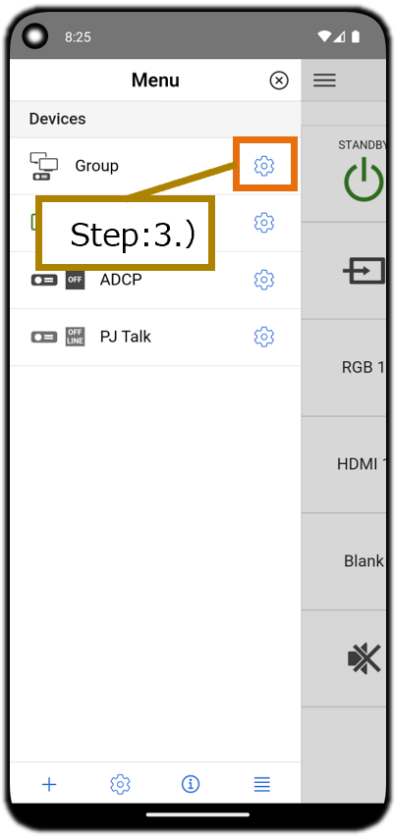
5.13. Crystal LEDディスプレイコントローラーを操作する

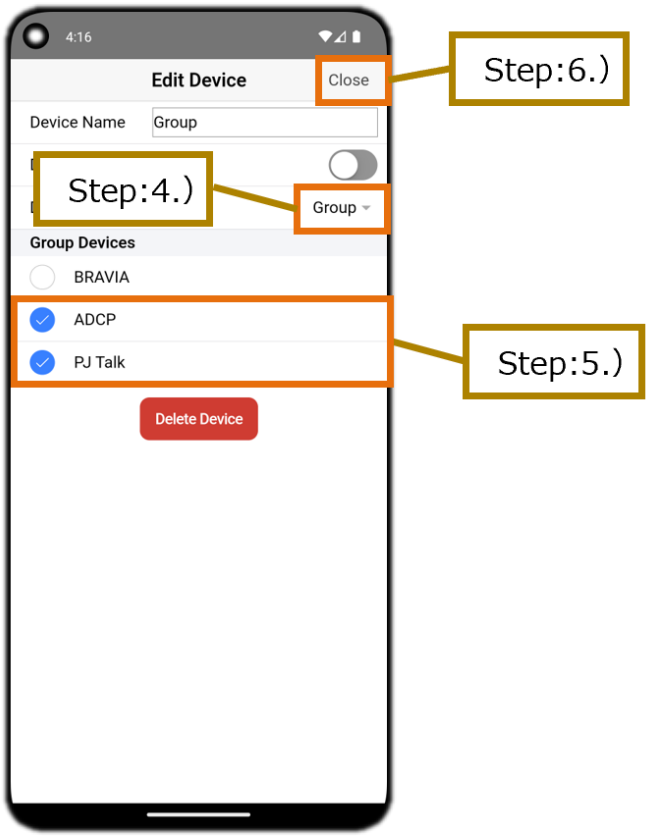
Remote画面 - CLED を表示してボタンをタップする。 各ボタンの機能については下記を参照のこと。

- “4.7 Remote画面 - CLED”

5.14. 複数のデバイスを一斉操作する

1. No Device Selected画面でAdd Deviceボタンをタップする。 または、Menu画面 (サイドメニュー)でAdd Deviceボタンをタップする。
2. Enter Device Nameダイアログが表示されるので任意のデバイス名称(グループ名称)を入力し、OKボタンをタップする。
3. Menu画面 (サイドメニュー)でデバイス一覧から追加したデバイスのDevice Settingsボタンをタップする。
4. Edit DeviceダイアログでDevice Typeの設定をGroupに変更する。
5. 下方にGroup Devicesリストが表示されるので、グループに含めたいデバイスのチェックボックスをタップして有効にする。
6. Edit Deviceダイアログの右上にあるCloseボタンをタップする。
7. Remote画面 - Group を表示してボタンをタップする。 各ボタンの機能については下記を参照のこと。
   - “4.8 Remote画面 - Group : TV (BRAVIA)のみ”
   - “4.9 Remote画面 - Group : PJ (ADCP)のみ ”
   - “4.10 Remote画面 - Group : PJ (PJ Talk)のみ ”
   - “4.11 Remote画面 - Group : PTZカメラのみ ”
   - “4.12 Remote画面 - Group : CLEDのみ ”
   - “4.13 Remote画面 - Group : TV (BRAVIA) & PJ (ADCP) ”
   - “4.14 Remote画面 - Group: TV (BRAVIA) & PJ (PJ Talk) ”
   - “4.15 Remote画面 - Group : PJ (ADCP) & PJ (PJ Talk) ”
   - “4.16 Remote画面 - Group : TV (BRAVIA) & PJ (ADCP) & PJ (PJ Talk) ”
   - “4.17 Remote画面 - Group : PTZカメラ & その他デバイス”
   - “4.18 Remote画面 - Group : CLED & その他デバイス”

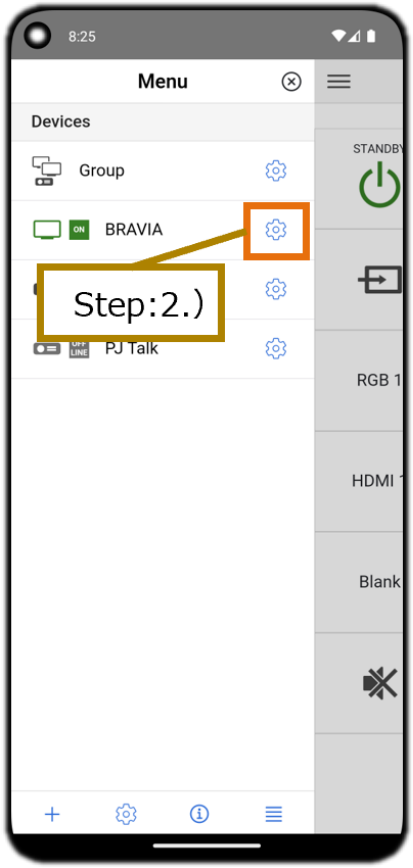




5.15. 不特定の相手から操作されないように、デバイスが認証を有効にしている場合

1. Remote画面でSide Menuボタンをタップして、Menu画面（サイドメニュー）を表示させる。
2. Menu画面（サイドメニュー）でデバイス一覧から不特定の相手から操作されないように設定しているデバイスのDevice Settingsボタンをタップする。
3. Edit Deviceダイアログでデバイスの認証情報を入力する。
   - Device Type が「TV (BRAVIA)」の場合 ブラビアで設定したPre-Shared Keyの値を入力する。
   - Device Type が「PJ (ADCP)」の場合 プロジェクターで設定したAdministratorのパスワードの値を入力する。
   - Device Type が「PTZ Camera」の場合 PTZカメラで設定したAdministratorのユーザ名、パスワードの値を入力する。
   - Device Type が「CLED」の場合 Crystal LEDディスプレイコントローラーで設定したAdministratorのパスワードの値を入力する。

     ※Pre-Shared Keyやパスワードが漏洩するとデバイスが不正に操作される恐れがありますのでご注意ください。



5.16. デバイスの設定や状態を確認する [PTZカメラ、CLEDのみ]

1. Remote画面でStatusボタンをタップする
2. デバイスの設定や状態が表示される

PTZ カメラ

項目名	説明
Model Name/Serial/Software Version	デバイス情報
Auto Framing	オートフレーミングの状態
Auto Framing Trigger Type	追尾対象の選択方式
Auto Framing Lost Wait Time	オートフレーミングの追尾ロスト待機時間
Auto Framing Detection Restart Time	オートフレーミングの追尾リスタート時間
Multi-Traking	オートフレーミングの複数人追尾時の人数
Multi-Traking Target	(value1, value2) value1: 現在追尾中の人数, value2：最大追尾人数
Multi-Traking Wait Time	複数人追尾時指定された人数がそろうのを待つ時間
Registered Face Tracking	カメラに登録している顔を優先的に追尾するか否かの設定
Face Lost Wait Time	オートフレーミングの追尾タイムアウト時間
Tracking Range	オートフレーミングの追尾範囲の設定が有効か否かの設定
Fixed Angle Postion	オートフレーミングの固定画角ポジションが有効か否かの設定 ※[BRC-AM7の場合] この項目は表示されない
Lead Room Level	オートフレーミングの目線空け効果
Zoom Mode	ズームモード ※[BRC-AM7の場合] この項目は表示されない
Streaming Protocol	ストリーミングのプロトコル

CLED

項目名	説明
Input	Inputに選択されている入力信号
Input Sync	入力信号の同期状態
3D Status	3D信号の状態
DP	DPの入力信号情報
HDMI	HDMIの入力信号情報

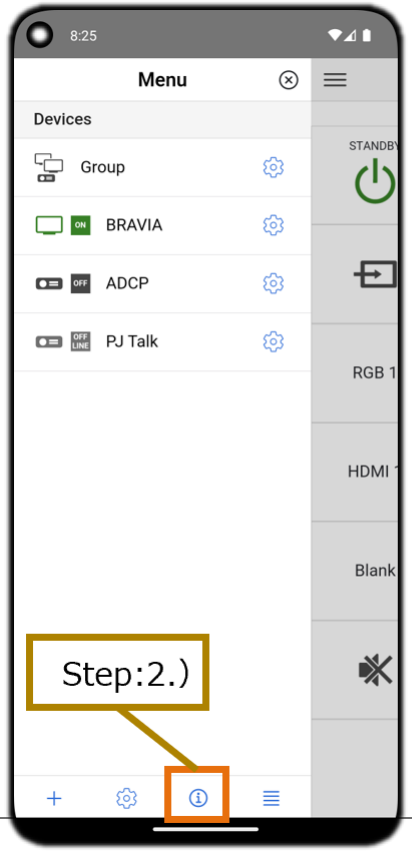
※電源ON以外の状態では表示内容は下記のようになる。
・電源OFF状態は「Power Standby」のみ表示
・電源OFFからONへ移行中は「Power Shutting down」のみ表示
・電源ONからOFFへ移行中は「Power Starting Up」のみ表示

※HDMIおよびDPの表示について
・InputにHDMIが選択されている場合
　・DPおよび選択したHDMIのみが表示
　　例：HDMI1を選択した場合、HDMI2の項目は表示されない

・InputにDPが選択されている場合
　・DPおよび最後に選択したHDMIのみ表示
　・最後に選択したHDMIに信号がない場合はHDMIは表示されない
　例①：DP選択後、最後に選択したHDMI1の信号がある場合、DPとHDMI1が表示される
　例②：DP選択後、最後に選択したHDMI1の信号がない場合、DPのみが表示される

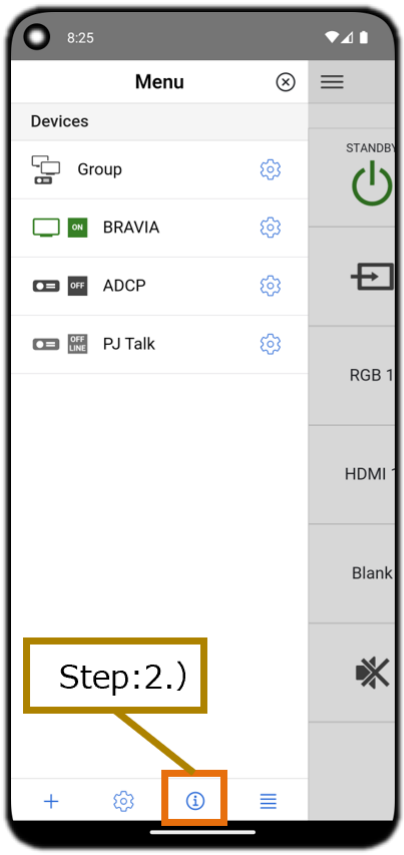
5.17. End user license agreementを表示する

1. Remote画面でSide Menu ボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。
2. Menu画面 (サイドメニュー)でAboutボタンをタップし、Aboutダイアログを表示させる。
3. AboutダイアログでEnd user license agreement ボタンをタップし、End user license agreement 画面を表示させる。



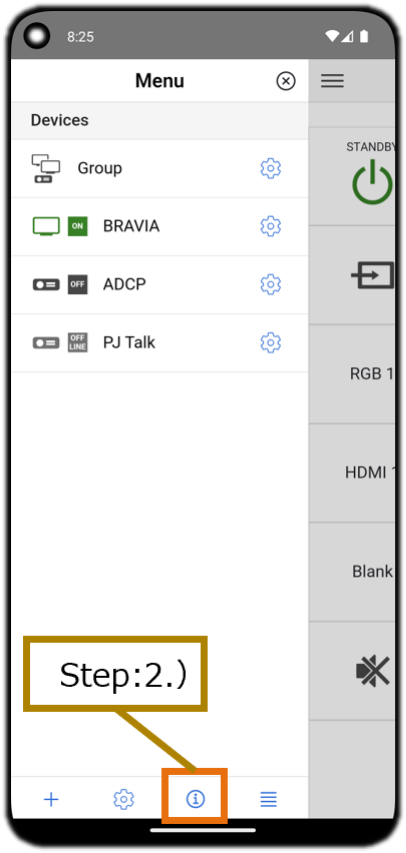
5.18. License informationを表示する

1. Remote画面でSide Menu ボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。
2. Menu画面 (サイドメニュー)でAboutボタンをタップし、Aboutダイアログを表示させる。
3. AboutダイアログでLicense informationボタンをタップし、License information画面を表示させる。



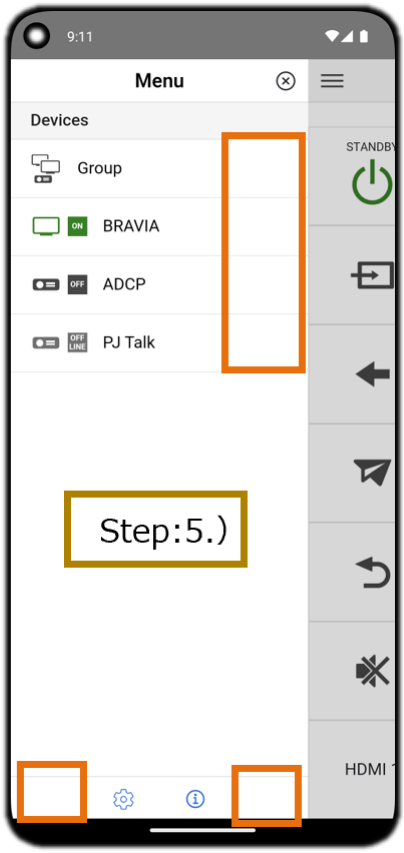
5.19. フランス オンラインコミュニケーションアクセシビリティ法に関するWebページを表示する

1. Remote画面でSide Menu ボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。
2. Menu画面 (サイドメニュー)でAboutボタンをタップし、Aboutダイアログを表示させる。
3. AboutダイアログでFor customers in Franceボタンをタップし、フランス オンラインコミュニケーションアクセシビリティ法に関するWebページを表示させる。



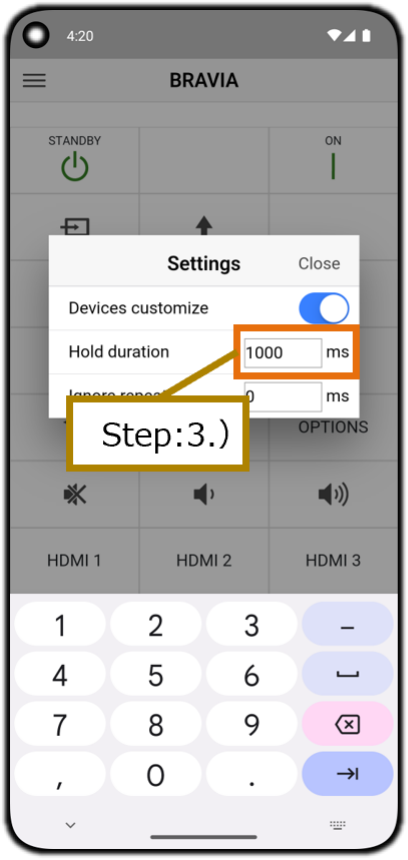
5.20. カスタマイズ機能を無効にする

1. Remote画面でSide Menu ボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。
2. Menu画面 (サイドメニュー)でApp Settings ボタンをタップし、App Settings ダイアログを表示させる。
3. App Settings ダイアログでDevices Customizeのトグルボタンをタップし、無効に設定する。
4. App Settings ダイアログのCloseボタンをタップして、App Settings ダイアログを閉じる。
5. Remote画面でSide Menu ボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。 デバイスの新規追加、削除、設定、並び替えのアイコンを非表示にすることで、カスタマイズ機能が無効になっています。



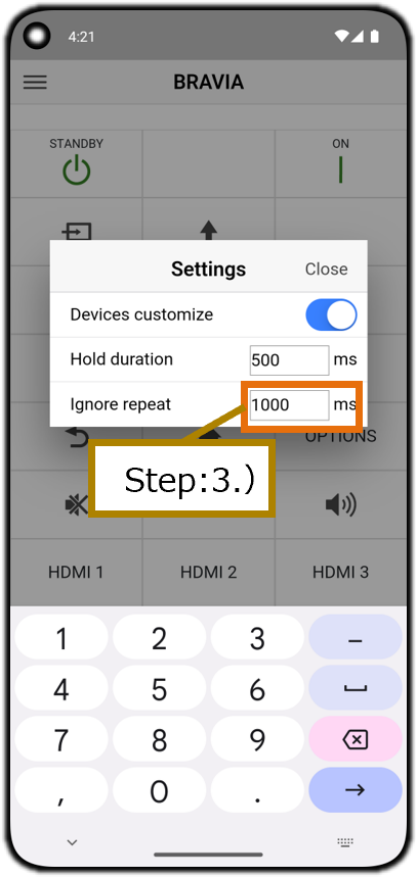
5.21. 長押しが有効になるまでの時間を変更する

1. Remote画面でSide Menu ボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。
2. Menu画面 (サイドメニュー)でApp Settings ボタンをタップし、App Settings ダイアログを表示させる。
3. App Settings ダイアログでHold Durationの値を変更する。
4. App Settings ダイアログのCloseボタンをタップして、App Settings ダイアログを閉じる。
5. Remote画面（BRAVIA）で矢印キーや音量ボタンを長押しすると設定した時間の経過後に長押し入力が開始される。



5.22. 連続タップを1回とみなす時間を変更する

1. Remote画面でSide Menu ボタンをタップして、Menu画面 (サイドメニュー)を表示させる。
2. Menu画面 (サイドメニュー)でApp Settings ボタンをタップし、App Settings ダイアログを表示させる。
3. App Settings ダイアログでIgnore Repeatの値を変更する。
4. App Settings ダイアログのCloseボタンをタップして、App Settings ダイアログを閉じる。
5. Remote画面で任意のボタンを連続タップすると1回目のタップから設定した時間が経過するまでは入力がされない。



6. トラブルシューティング

<プロジェクター>

- **ADCPでしばらく操作できない場合がある**
  - プロジェクターのADCPサービスの設定で、「Timeout」の値を短く設定してください。 操作できなくなる時間が短くなります。
- **PJ Talkでしばらく操作できない場合がある**
  - プロジェクターのPJ Talkサービスの設定で、「Timeout」の値を短く設定してください。 操作できなくなる時間が短くなります。

<アプリ起動>

- **Android端末で新規インストール後、起動時に画面が白く表示され操作できない場合がある**
  - アプリのキャッシュおよびデータを削除し、再起動してください。

7. アクセシビリティ機能

- 本アプリはiOSとAndroidでスクリーンリーダーを使用した操作が可能です。
- 外付けキーボードを接続して画面を触らずにアプリ操作を行うことができます。操作方法は各OSのサポートページをご覧下さい。

8. 変更履歴

V1.4.0

- 全体: 下記新規機能について記載を追加
  - PTZカメラ操作
  - Crystal LEDディスプレイコントローラー操作
  - BRAVIAのHTTPS通信

V1.3.0

- 全体: 下記新規機能について記載を追加
  - Edit Device画面からのデバイス削除
  - 矢印ボタンのタップによるデバイス並び替え
  - フランス オンラインコミュニケーションアクセシビリティ法に関するWebページの表示
  - 長押しが有効になるまでの時間設定
  - 連続タップを1回とみなす時間設定
  - アクセシビリティ機能
- 4. 各部の名称
  - 各画面の説明を追加。

V1.2.0

- 全体: 下記新規機能について記載を追加。
  - Wake on LAN 機能
- 5. 使用方法
  - 並べ替えの説明を追加。

V1.1.1

- 全体: 下記新規機能について記載を追加。
  - 電源状態表示機能
  - ボタン長押し機能
  - カスタマイズ機能

V1.1.0

- 全体: 初版。